

ここ 今、福島大学でしか学べないものがある

福島の課題は世界の課題でもあります。現実を直視し、グローバルな視点から問題解決力を磨き、文理融合のもと専門分野の枠を超えた思考力を武器に果敢に挑戦する、実践力を修得した人材を育成したいと考えています。

1. 学類の活動から

◆ 人間発達文化学類 未来の種を育てる“子ども支援ボランティア”◆

学生が主体となって取り組む「子ども支援ボランティア」では、仮設住宅に避難している子どもたちを大学に招き、遊びや学びの支援活動を行っています。学生による継続的な支援によって、子どもたちは勉強に集中することができたり、ものづくりやスポーツにも一人ひとりが積極的に参加し、いきいきと楽しんでいる姿が見られます。多くの教員をめざす学生たちは、この活動を通して悩みながらも子どもを理解する力を向上させています。



子ども支援ボランティアでの一コマ

◆ 行政政策学類 「未来の福島県知事選挙」に立候補!◆

福島県選挙管理委員会が選挙啓発事業として行う模擬選挙「未来の福島県知事選挙」に、中川教養ゼミが協力しました。ゼミ生20名を5チームに分け、各チームのうち1人が候補者役、残りの3名が選挙参謀となって候補者の選挙戦略を練りました。平成25年3月4日に、福島商業高校の体育館で立会演説会が行なわれ、その後で高校生が、選管が用意した本物の投票用紙や投票所を使って投票を体験しました。



未来の福島県知事選挙の様子

◆ 経済経営学類 少人数教育で入学後も自分を伸ばせる!◆

4年間のほとんどを通じて演習(ゼミナール)という少人数の教育研究クラスがあります。指導教員の密な指導のもと、学生は自分の関心を学問的に探求したり、実践の場に飛び出していくこともあります。たとえば、学内の食品容器リサイクル率向上に取り組むゼミ、タイやベトナムなど海外でのフィールドワークに出かけるゼミ、日銀グランプリ、経済学検定試験大学対抗戦、マーケティング分析コンテストなど、全国レベルの俊英たちと競い合い入賞実績もあるゼミなど。学生自身が自分を伸ばすための学びにチャレンジしています!



特色ある教育・学習活動の一例

◆ 共生システム理工学類 子どもたちへ科学実験を提供!“サイエンス屋台村”◆

今年で8回目を迎える「サイエンス屋台村」は、地域の次世代を担う子ども達の科学に対する啓発活動推進を目的とした事業です。教員と一緒に学生が企画・製作・実施する「科学実験屋台」を通して、体験型科学実験等を提供しています。地域の子供達は、学校の授業では学ぶことのできない楽しい科学実験を体験することで、科学を身近に感じたり、夏休みの自由研究のヒントにもなっています。また、本学学生にとっても、活動を通して子どもたちに「伝える」という主体的行動が、自らの学習レベルの向上にも繋がっています。



サイエンス屋台村の様子

2. 東日本大震災を契機とした学びから

◆福大だからできること、「災害復興支援学」がスタート!

東日本大震災からの復興を進めるにあたり、大学はどのように支援できるのだろうか。研究を進めることが支援に結びつくだけでなく、福大だからこそできるもっと直接的な支援もあるのではないかという視点から、「災害復興支援学」の授業がスタートしました。復興支援活動で現場に入っている研究者の豊富な知見と様々な姿を学生達に伝え、新たな支援者の育成に繋がります。平成25年度は、前・後期2回開講し、今後も充実を図ります。

〈主な内容「福島・災害復興支援の社会学」「食と農の再生」「復興交通まちづくりの考え方」「福島県の再生可能エネルギー事業の課題と電気事業を踏まえた展望」など。〉



災害復興支援学の授業風景

◆学問分野としての「震災復興学」確立へ

福島大学では、東日本大震災を契機とした「震災復興学」の確立に向けた研究に取り組みます。この事業は、「支援知」を研究に活かし、震災復興学を通じて世界の平和と未来の地球に貢献することを目的とし、「科学研究費基盤研究(S)」(平成25年度から5年間で2億円)にも採択されました。今後は、産業復興支援、地域計画、地域コミュニティ、災害予測・防災の4つのチームで研究を進め、復旧・復興プロセスを体系化し、「震災復興学」として世界に発信します。

3. 学生の活動から

◆福島を感じて考えるスタディーツアー “スタ☆ふく”

震災後ボランティア活動を実施してきた学生達が、「全国へ福島のリアルを伝えたいという想い」を持ち、ツアー参加者と地域住民の交流の機会を創造し、対話と体験を通して福島を感じて考えるスタディーツアーを企画しました。このツアーは主に県外の学生・社会人を対象にしたもので、平成25年は水産漁業ツアー『“3年目”の夏、福島の漁師の今』、まちづくりツアー『“結(ゆい)”でつながる東和の和』の2つを用意しています。昨年度実施したこのツアーは、観光庁の第一回「今しかできない旅がある」若者旅行を応援する取組表彰で東北ブロック賞を受賞しました。

★スタ☆ふくHP <<http://sutahuku.jimdo.com/>>



ツアーでの地域住民との交流



東北ブロック賞表彰状と共に

4. 放射線への取り組みから

◆放射線への取り組みの公表◆

福島大学が行っている放射線への取り組みや毎週のキャンパス内放射線計測データは、HPからご覧になることができます。

★福島大学放射線に関する取り組み

<<http://www.fukushima-u.ac.jp/guidance/top/torikumi-housyasen.html>>

★福島大学キャンパス内及び附属学校園の放射線計測データの公開

<<http://www.fukushima-u.ac.jp/guidance/top/fukudai-housyasen.html>>

福島大学の情報はホームページでチェック!
入試情報もホームページでチェック!

福島大学 で 検索

福島大学 入試 で 検索